

2013年4月17日、大使公邸において、一般無償資金協力「第二次土地改良・灌漑機材整備計画」に関する交換公文の署名式が渡邊大使とアビド・シャリホフ副首相との間で行われ、また、同計画の贈与契約の署名式が鹿野 JICA ウズベキスタン事務所長とアフマドザーデ灌漑・水利公社総裁との間で行われました。

同計画は、日本政府が、アゼルバイジャンのアグジャベディ地区、イミシュリ地区、ベイラガン地区、フィズリ地区に対し、7.77億円（約745万米ドル）を限度として、ブルドーザやエクスカベータなどの土地改良・灌漑機材を供与するもので、アゼルバイジャンの農業セクターの発展及び農業に従事する人々の生活の向上が期待されます。

